

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

降雪で樹木が至る所で無残に折れる多くの現場。年々降る雪の水が増して、重たくなってきた気がする。温暖化で日本海の

海水温が高く、水蒸気をたっぷり含んだ雲が発達し、場所によっては大量の雪を降らせた。と伝えられている。特に気象衛星の雨雪レーダーによる気象予報で伝えられる水蒸気の流れは、今までと明らかに違うことが解る。湿った雪が数日降り続けた地域では異例な降雪量だ。私たちの身近な場所でも、湿った雪の処理に人力で一苦労、高齢世帯の負担が心配になる。毎年、屋根からの落雪処理に除雪機を使用するのだが、高く積もった雪を上部から処理するたびに、下部の雪の柔らか

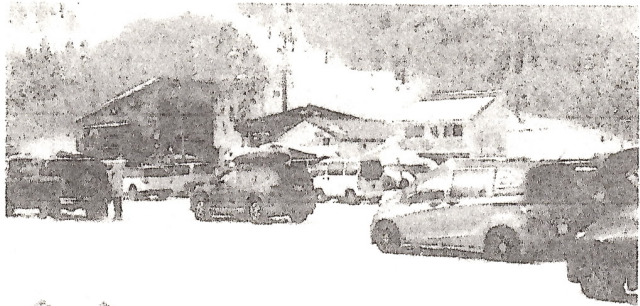
さのために除雪機が埋まってしまふ雪質に苦戦してしまふ。政府が7日、東京・埼玉・千葉・神奈川の1都3県に新型コロナ特別措置法に基づき緊急事態宣言を発生した。この1月の3連休

地域定住をしたくなる 優しい気持ちが大切だ

に期待した観光関係者には厳しい宣言だ。入込車両の少なさが、むしろ寂しささえ感じしてしまう。宿泊営業施設の入込客の少なさが、スキー場の駐車スペースの空きが目立ち、コロナ禍での関係者の嘆きが聞こえてくる。村内の生鮮食料品売り場の、関係者に聞く「売り上げ減は、外国人観光客の減少が大きな要因」との声だ。しかし前年同期の売り上げが50%を下回らなかったことを聞くと、

「住み始めて、この地域はとて冷たいと感じた」との返事。地域組織に加入しないと、ゴミ処理にも苦慮する。との声を、どの様に解決して行くのか。生活に必要な地域施設に対して行政が地元負担を求めて行く時代では無いことを理解して、日本では、どこに住んでも同レベルの行政サービスを受けられる財政制度である普通交付税の理念の実行を目指すべきなのだろうと強く感じる。

わらふ 私だってわらふ 赤ん坊がわらふ 赤ちゃんが笑い、それを見た自分も笑顔になる。でも一人の笑顔が周りの笑顔や幸せを伝



3連休・中日の岩岳スキー場駐車場、少ないと言うべきなのか、コロナ禍でも多い駐車車両と言うべきか。

えて行く。そんな心温かい地域にしたいものだ。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)